

LPガスの保安業務

ご存知でしたか。LPガスでは、さまざまな保安サービスを行っています。

LPガスを安全にお使いいただくために、法律に基づき定期的に周知や消費者宅の点検・調査の保安業務を行います。認定を受けた保安機関に販売店が委託している場合があります。保安機関が訪ねた時はご協力をお願いいたします。

✓ 周知

●使用上の注意点や事故を起さないための情報などを定期的に文書でお知らせします。



年1回
(または2年に1回)
行います。

✓ 緊急時連絡と緊急時対応

●ガス漏れなどの時、すみやかに対応します。



緊急時の
連絡先は
夜間・休日
も対応

緊急時は
30分以内に
無料対応

✓ 供給開始時点検・調査

●ガス器具も含めたLPガス設備全体の点検・調査を行います。



供給開始時
に行います。

✓ 容器交換時等供給設備点検

●容器の転倒防止の確認など、容器周りの点検を行います。



容器の
交換時に
(または月1回以上)
行います。

✓ 定期供給設備点検

●ガス漏れの有無など、調整器からガスメータの供給設備の点検を行います。



4年以内に
1回行います。

✓ 定期消費設備調査

●ガス器具、給排気、ホース、配管などの消費設備の調査を行います。



4年以内に
1回行います。

◎「保安業務」は無料で行います。「消費設備」の修理や改善が必要な時は有料となります。

お知らせ

「安全制度」をご存知ですか! (長期使用製品安全点検制度)

平成21年4月から製造・輸入する「特定保守製品」に点検制度が設けられました。特定保守製品を購入した場合は、「所有者登録」をしましょう。



今お使いのガス器具も点検が受けられます!

平成21年4月より前に製造された製品は法定点検の対象外ですが、お客様からのご依頼があれば法定点検に準じた点検を実施しています。点検費用は有料です。器具メーカーにご相談ください。

ガス器具の点検・修理の連絡先 (記入欄)

※点検・修理の連絡先は、あらかじめ取扱説明書や器具メーカーのホームページ等で確認してください。

品名・器具名	メーカー名	購入年月	点検・修理の連絡先
①			☎
②			☎
③			☎
④			☎

LPガス緊急時の連絡先

LPガス販売店名

保安機関名

電話:

LPガス販売店名

緊急時の連絡先は24時間無料で対応しています。

●緊急時の連絡先は、LPガス販売店に確認してください。
●不明点やお困りの時は、LPガス販売店へお気軽におたずねください。

安全・安心にお使いいただくために



キッチンやリビングなど、ご家族の目の付くところに置いてください。

ガス臭いと感じたら、その時の対応は!

火気は絶対使用しないで

- 着火源となる裸火、換気扇、電気などのスイッチにも絶対手を触れないでください。
- 電気のスイッチは切る時にも火花がでます。切ることもしないでください。

火気厳禁



ガスを外に追い出して

- 戸や窓を大きく開けてください。
- すべての器具栓、ガスの元栓を閉めてください。
- 容器バルブは必ず閉めてください。



※LPガスは空気より重いため、低い所に溜まったガスにもご注意ください。

ガス漏れの状況をすぐ連絡

- 「緊急時の連絡先」に連絡してください。



- お名前
 - ご住所
 - ご近所の目標
 - その場の状況
- をお知らせください。

- 「緊急時の連絡先」の指示に従ってください。
- 安全確認が済むまでガスは使用しないでください。

◎緊急時の連絡先は、あらかじめ販売店に確認してください。
◎緊急時の連絡先は、24時間無料で対応しています。

より安全にお使いいただくために

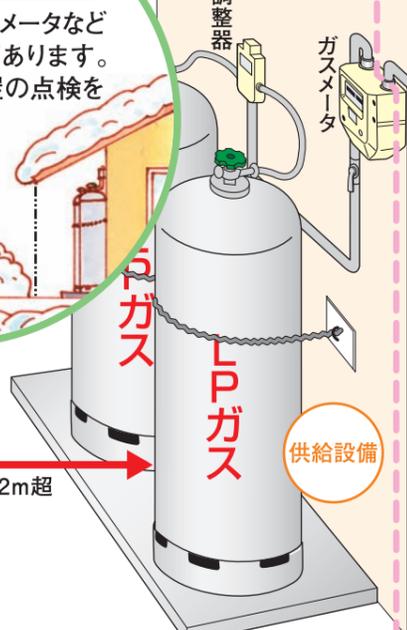
日々、皆さまに行っていたきたい「安全チェックのポイント」!

- LPガス容器からガスメータの出口までは「供給設備」と呼ばれ、LPガス販売店が責任を持って点検と維持管理を行います。
- ガスメータの出口からガス器具までは「消費設備」と呼ばれ、法律上の管理責任は消費者の皆さまにあります。日常の点検・維持管理は、ふだんLPガスを使っている皆さまで行ってください。

雪害対策のお願い

- 雪で調整器やガスメータなどがこわれる恐れがあります。雪囲いや容器小屋の点検をお願いします。
- 雪おろしの時は、LPガス設備に損傷を与えないよう注意してください。

- 火気との距離は2m以上に!



点検の確認

点検の繰り返し・再点火

立ち消え

- 点火を確認しない事故が発生しています。必ず目で確認を!
 - 点火操作を繰り返して、器具に溜まったガスに引火する事故が発生しています。再点火する時はご注意ください!
- ※乾電池が切れていると点火できません。
※器具が点火しにくい場合は、すぐに器具メーカーに点検を依頼してください。

お風呂の確認

- ふろがまの空だきに注意!



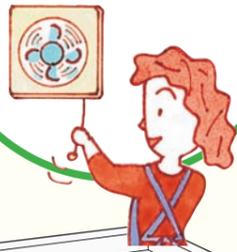
ゴムホース(ゴム管)は

- 焼けこげやひび割れができていないか!
- ガスの元栓の赤い線まで差し込まれているか!
- ホースバンドでしっかり止まっているか!



換気の確認

- ガスを使う場合は換気を習慣に!

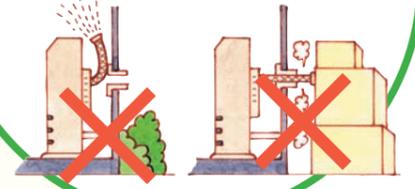


CO中毒について!
燃焼器具は空気(酸素)が不足したまま使用していると不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)が発生します。COは毒性がとても強く少し吸い込んだだけでも頭痛・吐き気などかき、気がついた時には動けず死にいたる危険性があります。CO警報器の設置をおすすめします。

FF式ストーブをご使用の皆さまへ

屋外から給排気する燃焼機器は

- 排気筒がはずれていないか!
- 排気口がふさがっていないか!
- 排気筒の先端が屋外に出ているか!



CO警報器は

ガス警報器は

- 掃除機などの使用後は、必ず電源が元通りになっているか!
 - コンセントが抜けていないか!
- ※警報器の交換期限は5年です。



ストーブ、ガスファンヒーターをご使用の皆さまへ

- 1時間に1~2回、窓を開けて換気してください。

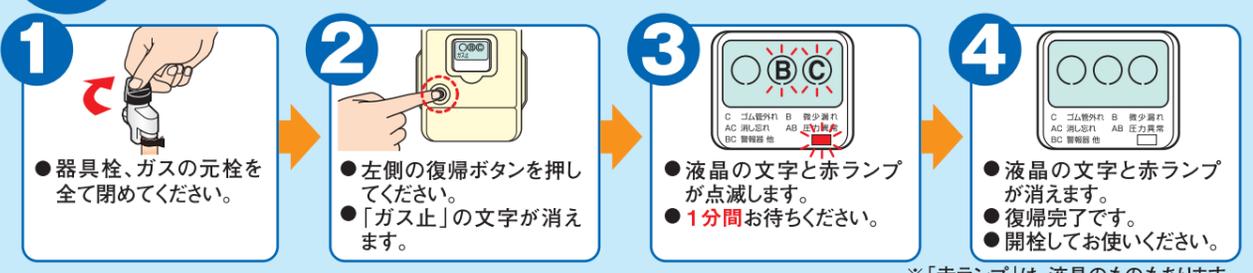
○室内に煙突(排気筒)が付いている湯沸器や風呂釜、安全装置の付いていないガス器具をお使いの皆さまは、販売店へご相談ください。

ガスが突然止まったら

LPガスの流れや圧力などに異常があると、ガスメータ(マイコンメータ)が自動的にガスをシャ断し、原因が表示されます。



- ガス利用の再開は、次のような手順で行ってください。
- 異常がなければ、マイコンメータを復帰することができます。
 - 復帰しない場合は、復帰を繰り返さずLPガス販売店の点検を受けてください。



※「赤ランプ」は、液晶のものもあります。

地震・火災・洪水が起きたら

- 器具栓、ガスの元栓、ガスメータバルブ及び容器バルブを閉めてください。



- 災害後にLPガスを使用する時は、販売店に連絡し点検を受けてから使用してください。

災害後は販売店が順次点検を行います。連絡が取れない場合でも点検を受けるまで使用しないでください。

こんなときはすぐに連絡を!

- 器具メーカーかLPガス販売店に、すぐ点検を依頼してください。
- 点検・調査は無料で行いますが、修理や改善が必要なときは有料となります。

炎	炎が安定しない	炎が黄色い	炎が赤い
	使用中に消火した	爆発的に着火する	火移りしにくい
操作	点火しにくい	点火しない	
	異常音をたてて燃える	ガスの臭いがする	
器具	運転中に排気ガスの臭いがする		